

別添1

2.4 調査方法

2.4.1 調査枠の設定

調査海岸において、海岸漂着物の漂着量が平均的な箇所を選定し、海岸方向に50mの調査枠を設定した。第1回目の調査時に、GPS等を利用して調査枠の位置（緯度経度）を確定しており、本調査においても同じ位置で調査を実施した。調査枠の陸方向の範囲は、調査時の汀線から植生・堤防・傾斜地等の際までとした。なお、植生には匍匐性植物を含まない。

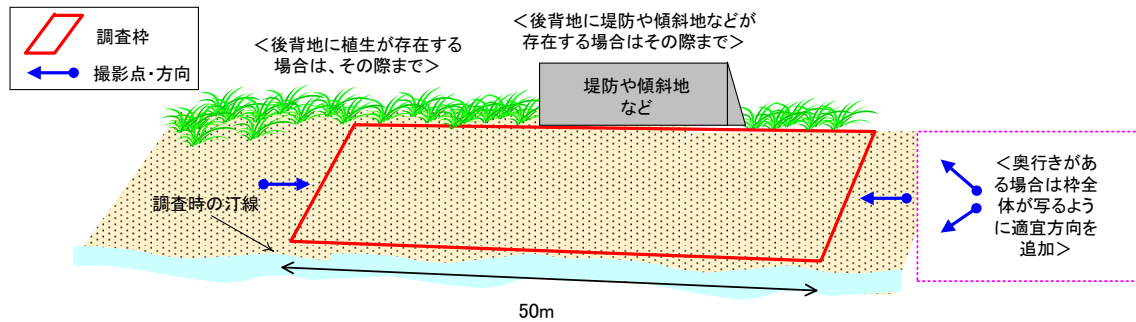


図 2.4-1 調査枠の模式図

2.4.2 海岸漂着物の回収・分類・測定調査

調査枠において、直径又は長さ1cm以上の海岸漂着物を全て回収した。回収した海岸漂着物等は、図 2.4-2 に示す分類項目に従って分類し、重量と容量を測定した。また、調査枠に隣接する位置に対照枠（幅50m）を設置し、写真撮影を行った。

なお、調査範囲に植生等がある場合は、植物を引き抜いたり、植生内にむやみに立ち入らないよう配慮した。特に環境保全上の価値が高い動植物等が確認された場合は、その取り扱いに留意し、調査範囲が自然公園に含まれる場合には、「自然公園法」等の関連諸法令を遵守した。

調査地域	調査地点	記入者
調査日	調査時間 : ~ :	作業員人数 人

素材	種類	容量	重量	ラベル有	ラベル無			
1. プラスチック類	ペットボトル	1000cc未満	ℓ	kg	個	個	国別分類上限100個 (無作為に) 国別分類合計と計数合計 確認すること	
		1000cc以上	ℓ	kg	個	個		
	フイ	直径20cm未満	ℓ	kg	水色(大)	水色(小)	オレンジ	その他(ワレタン等)
		直径20cm以上	ℓ	kg	黒色	赤・黄・橙色	その他	
	漁具・漁網		ℓ	kg				
	その他のプラスチック(破片等)		ℓ	kg				
	ライター(重量・容量はその他に含む)				個		全量サンプル サンプル袋に個数を明記すること	
	日本製の 農業 用の容器・袋類(重量・容量はその他に含む)				個			
	日本製の 飲食 用の容器・袋類(重量・容量はその他に含む)				個			
	ポリタンク(重量・容量はその他に含む)				韓国	その他	不明	
	ビニール製イベント用風船(重量・容量はその他に含む)				中国(羊)	台湾	不明	
2. 発泡スチロール類	フイ		ℓ	kg			↑ 縫柄がわかるよう写真撮影(すべて)	
	その他の発泡(破片等)		ℓ	kg				
	日本製の 飲食 用の容器(重量・容量はその他に含む)			個				
3. ゴム類			ℓ	kg				
4. 紙類			ℓ	kg				
5. 布類			ℓ	kg				
6. ガラス・陶磁器類	電球		ℓ	kg	個	ラベルあれば写真撮影	個	
	蛍光灯		ℓ	kg	個	ラベルあれば写真撮影	個	
	電球・蛍光灯合計		ℓ	kg				
	その他のガラス(破片等)		ℓ	kg				
7. 金属類	飲料缶		ℓ	kg	日本	海外	個	
	その他の金属(破片等)		ℓ	kg				
8. 木類	加工木、パレット等(人工系)		ℓ	kg			重量未測定の投げ込み 処置分の容量 ※重量測定時は記入しない	
	流木、灌木(自然系)		ℓ	kg				
9. 医療系廃棄物			ℓ	kg	バイアル	注射器・針	その他	
			ℓ	kg	個	個	個	
10. オイルボール・廃油・廃液			ℓ	kg				
11. その他 (粗大ゴミ等、具体的に)			ℓ	kg				
			ℓ	kg			↓ 前回調査時からある漂着物は除く (流木:比重0.37 1L⇒0.37kg) (漁具・漁網:比重0.14)	
				12. 大きな漂着物				
ペットボトル 生産国分析 (バーコード国番号は上3桁)				品名	容量	重量		
その他の国は 国名またはバー コード国番号上3 桁を記入↓	日本	本	その他	本	ℓ	kg		
	中国	本	その他	本	ℓ	kg		
	台湾	本	その他	本	ℓ	kg		
	韓国	本	その他	本	ℓ	kg		
その他	本	不明	本	ℓ	kg			
その他	本	ペットボトル 全計数 合計	本	ℓ	kg			
その他	本	ペットボトル 国別計数 合計	本	ℓ	kg			

図 2.4-2 海岸漂着物の分類及び重量・容量の測定野帳

2.4.3 特徴的な海岸漂着物の分析・測定

回収した海岸漂着物のうち、特徴的な海岸漂着物6品目(ペットボトル、飲料缶、ポリタンク、漁業用ブイ、ビニール製バルーン、電球・蛍光灯)については生産国の分析及び個数の計数を行った。特徴的な海岸漂着物の選定理由及び分析方法を表 2.4-1 に示す。

表 2.4-1 特徴的な海岸漂着物の選定理由と分析方法

品 目	選定理由	分析方法
ペット ボトル 	<ul style="list-style-type: none"> ・県内広範囲に多数漂着 ・ラベル等で生産国の特定が可能 	容量(1000cc未満、1000cc以上)に分け、ラベルの有無別に計数する。ラベル等の表記、バーコード及びキャップの刻印等により生産国別に分類し計数した。調査個数は回収全量または最大100個(※)とした。
飲料缶 	<ul style="list-style-type: none"> ・県内広範囲に多数漂着 ・ラベル等で生産国の特定が可能 	回収全量を対象とし、日本製、海外製別に計数した。
ポリタンク 	<ul style="list-style-type: none"> ・県内広範囲に多数漂着 ・刻印等で生産国の特定が可能 	回収全量を対象とし、生産国別に計数した。
漁業用ブイ 	<ul style="list-style-type: none"> ・県内広範囲に多数漂着 ・刻印等で生産国の特定が可能 	色と大きさ別に計数した。
ビニール製 バルーン 	<ul style="list-style-type: none"> ・印字等で生産国の特定が可能 	生産国別に計数した。
電球・ 蛍光灯 	<ul style="list-style-type: none"> ・県内広範囲に多数漂着 ・刻印等で生産国の特定が可能 	ラベル等の有無別に計数した。

※ 環境省第1期モデル調査結果及び地球環境研究総合推進費「市民と研究者が協働する東シナ海沿岸における海岸漂着ゴミ予報実験」の結果(東京大学 清野聡子助教、私信)によれば、海岸毎に100個程度のサンプル数で発生国の割合の把握は可能である。